



「石橋みちひろ議員」の活動報告

2022年3月号

みちひろば通信

2月の
主な活動

つながって、ささえあう社会へ

雇用労働政策をライフワークとして国会で活動しています。

超党派「過労死防止議連」で過労死対策を議論(2.16)

石 橋議員が事務局次長を務める超党派「過労死等防止について考える議員連盟」(過労死防止議連)は、総会を開き、今後の過労死対策について、過労死弁護団や家族会と意見交換を行ないました。

総会では、厚生労働省から、①「過労死等防止対策白書」での過労死対策の取り組み状況②令和4年度の本予算案での過労死対策の予算要求——について、説明を受けました。

この中で、石橋議員は、①コロナウイルスの影響で労働時間の実態はどのようになっているのか②働き方改革関連法で残業時間の上限規制を受けた36協定の改定と改善状況③勤務間インターバル規制の導入と休息時間の実態④労働時間と過労死関連統計非雇用(雇用

類似)の把握状況と対策——など、厚生労働省に確認し、議連でも問題提起しました。

また、バスやタクシー運転手の勤務時間のインターバルに関し、厚生労働省がまとめた国際基準の「11時間」案に経営者側が難色を示したことから、厚労省が「9時間」へと短縮した修正案を示したと報道されたことについて、問題提起を行なっています。

石橋議員は、過労死ゼロをめざし、これからも労働者保護ルールの強化を求めていくと強調しました。



立憲民主党の総務部会で「電気通信事業法改正案」の事前学習を開催(2.16)

立 憲民主党の総務部会では、今通常国会に提出予定の『電気通信事業法改正案』(3月4日に閣議決定され、国会提出済)について、その論点の一つであるデータの取り扱いに係るガバナンス確保の在り方について、事前学習を実施しました。

この日扱った内容は、①規律の対象となる利用者情報②通信サービスの利用者の情報の外部送信③利用者情報の保管先や委託先——などに係る課題です。

石橋議員は、「電気通信事業者に対する利用者情報の取り扱いの規定」「通信回線機能を提供するクラウド事業者への事故報告義務」など、総務省の検討会で、一部事業者から出された意見が結論に影響を与えていることの事実関係や、提出予定の法案と4月施行の改正個人情報保護法及びEU一般データ保護規則(GDPR)との関係の整理について問題提起。保護ルールが不十分となれば、ICT利活用の推進の妨げになるとして、今後、法案が提出された場合、党内議論を進めるべきと提案しました。



立憲民主党 定期党大会(2.27)



立 憲民主党は定期党大会を開き、2022年度の活動計画案と予算案を採択しました。また、党全体で結束し、参院選に臨むことを確認しています。



参議院議員 比例代表

石橋みちひろ



石橋みちひろ
公式webサイト



みちひろばオンライン
公式YouTube

その他の主な活動

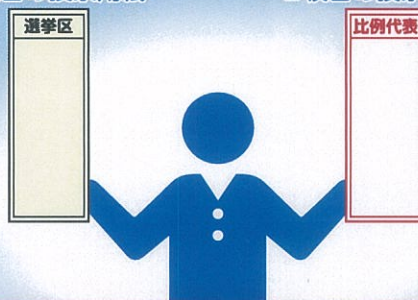
- ミャンマー民主化議連 政府要請行動(2.9)
- 立憲民主党 島根県連大会(2.12)
- 参議院行政監視委員会(2.14)
- 超党派「ILO議連」総会(2.17)
- 連合出身国会議員政治懇談会(2.17)
- 移住連インタビュー(2.22)

参議院の選挙のしくみ

参議院の選挙は、①選挙区での選挙②比例代表（全国区）による選挙——となり、二つの制度を組み合わせ、3年ごとに半数の議席を改選します。

1枚目の投票用紙

2枚目の投票用紙



参院選は「1人2票」持っています

参議院選挙の投票方法

1枚目の投票

都道府県選挙区
候補者名を
書いて投票



2枚目の投票

比例代表も
候補者名を
書いて投票
※政党名でも可



参議院比例代表（全国区）の当選順位決定のしくみ

「個人名」を書くことが重要！

政党ごとの**総得票数**によって、
各政党の**獲得議席**が決まります。

※ A党と書いても、A党の候補者名を書いても、すべてA党の獲得票になる。



当選は、**候補者個人名**の得票数が多い順となります。

A党の比例代表名簿

- 石原〇〇(80万票)
- 田中〇〇(60万票)
- 佐藤〇〇(50万票)
- 池田〇〇(40万票)
- 加藤〇〇(35万票)
- 鈴木〇〇(30万票)
- 吉田〇〇(25万票)
- ⋮

A党の獲得議席が
5議席だったら…

個人名の得票数、
上位5名が

当選

特徴

参議院選挙の比例代表制は、「**候補者に直接投票**」ができるため、「**自分が応援している候補者を選びやすい**」という長所があります。